

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 宮崎雅薫
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916



伊豆半島ジオパーク

～伊東エリアには15のジオサイトがあります～ その2

城ヶ崎海岸

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 3月定例会の概要……………【P.2】
- 予算大綱質疑(12議員が質疑)……【P.5】
- 一般質問(12議員が登壇)……………【P.7】
- 常任・特別委員会……………【P.12】

市議会会議録は、市役所、図書館、
各コミュニティセンターや、
ホームページでごらんいただけます。
(3月定例会会議録は、6月上旬
発行・公開の予定です)

平成25年3月定例会

平成25年度一般会計予算を賛成多数で可決！
8 特別会計、2 企業会計についても可決

3月定例会を2月20日から3月22日までの31日間の会期で開会しました。

■市議会3月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第30号	財団法人伊東市振興公社の活動の総合調整及び助成に関する条例の一部を改正する条例	財団法人伊東市振興公社が平成25年4月1日から公益財団法人へ移行することに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第31号	伊東市行政財産の目的外使用に関する使用料徴収条例の一部を改正する条例	社団法人全国市有物件災害共済会が平成24年11月1日から公益社団法人へ移行したことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第32号	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴って、所要の改正を行うもので関係条例（全6条例）を一括改正	市長	全会一致で可決
市議第33号	伊東市ホームヘルプサービス等手数料及び利用者負担金徴収条例を廃止する条例	ホームヘルプサービス及びガイドヘルプサービスについて、障害者自立支援法に基づくサービスなどへの移行が完了したために廃止	市長	全会一致で可決
市議第34号	伊東市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例	道路法の改正により、市道の構造に関する基準を市条例で定めることとされたことに伴い制定	市長	全会一致で可決
市議第35号	伊東市が管理する市道に設ける道路標識の寸法を定める条例	道路法の改正により、市道に設置する標識の寸法を市条例で定めることとされたことに伴い制定	市長	全会一致で可決
市議第36号	伊東市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正により、移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を市条例で定めることとされたことに伴い制定	市長	全会一致で可決
市議第37号	伊東市が管理する準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	河川法の改正により、準用河川管理施設等の構造に関する基準を市条例で定めることとされたことに伴い制定	市長	全会一致で可決
市議第38号	伊東市都市公園条例の一部を改正する条例	都市公園法の改正により、都市公園の設置基準等を市条例で定めることとされたことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第39号	伊東市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正により、移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を市条例で定めることとされたことに伴い制定	市長	全会一致で可決
市議第40号	伊東市都市下水路条例の一部を改正する条例	下水道法の改正により、都市下水路の構造及び維持管理の基準を市条例で定めることとされたことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第41号	伊東市営住宅等の整備基準に関する条例	公営住宅法の改正により、市営住宅等の整備基準を市条例で定めることとされたことに伴い制定	市長	全会一致で可決
市議第42号	伊東市土地開発公社の解散について	公有地の拡大の推進に関する法律に基づく伊東市土地開発公社の解散の議決	市長	全会一致で可決
市議第43号	平成24年度伊東市水道事業会計資本剰余金の処分について	地方公営企業法の改正による資本剰余金の処分の議決	市長	全会一致で可決
市議第44号	平成24年度伊東市一般会計補正予算（第5号）	各種事務事業経費の整理、病院事業会計への繰り出し、国の補正予算の補助制度を活用したあんしん通学路の整備や橋梁の長寿命化等に係る経費の追加、平成25年度当初にかけて切れ目のない経済対策事業を実施するための経費の追加など、17億1,767万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第45号	平成24年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	歳出では国庫支出金の減額に伴って補助事業等を縮小したことによる管きょポンプ場建設事業や改築事業等の減額など、歳入では受益者負担金の増額や国庫支出金や市債の減額など、5,520万8,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第46号	平成24年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第2号）	平成24年12月に実施した記念競輪の売り上げが見込みを上回ったことに伴う増額など、17億8,721万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第47号	平成24年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳出では不足が見込まれる一般被保険者療養給付費や一般被保険者高額療養費等の増額など、歳入では療養給付費等に対する国庫支出金、保険給付等支払準備基金繰入金金の追加など、1億7,469万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第48号	平成24年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	歳出では墓所返還による使用料の還付金の計上、歳入では一般会計繰入金金の減額など、21万4,000円の追加	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第49号	平成24年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳出では保険給付支払準備基金積立金の減額など、歳入では減少が見込まれる調整交付金の減額など、5,512万3,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第50号	平成24年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳出では広域連合に納付する保険料負担金の減額や保険基盤安定負担金の増額など、歳入では保険基盤安定に係る一般会計繰入金金の増額など、6,192万5,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第51号	平成24年度伊東市病院事業会計補正予算（第2号）	収益的収入は16億368万1,000円、収益的支出は16億3,164万3,000円の増額、資本的収入は1億1,340万1,000円、資本的支出は3,512万9,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第52号	平成24年度伊東市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入は1,118万5,000円、収益的支出は173万6,000円の減額、資本的収入は477万5,000円、資本的支出は1億3,844万8,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第53号 と 市議第63号 市議第64号	平成25年度伊東市一般会計予算、以下、8特別会計と2企業会計	※予算の概要については、下表をごらんください。	市長	下表をごらんください。
市議第64号	平成24年度伊東市一般会計補正予算（第6号）	橋りょう詳細点検業務委託料の追加、小・中学校の理科教材の整備経費の計上、保育園・幼稚園・小学校・中学校の修繕等を実施する経費の追加など、2,171万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市選第5号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原昭三氏（物見が丘）新任	市長	賛成多数で選任に同意
市諮第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	安井宏之氏（芝町）再任	市長	賛成多数で推薦に同意
市諮第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	小林洋子氏（八幡野）再任	市長	賛成多数で推薦に同意
発議第14号	伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例	議員の期末手当の支給に関し、在職期間が1月未満の議員に対してはこれを支給しないこととするための条例改正	議員7名	賛成多数で可決
発議第15号	伊東市議会委員会条例の一部を改正する条例	地方自治法の改正により、委員の選任等に関する規定を市条例で定めることとされたことに伴う条例改正	議員8名	全会一致で可決
発議第16号	伊東市議会会議規則の一部を改正する規則	地方自治法の改正に伴う引用条項の整理を行うための規則改正	議員8名	全会一致で可決
発議第17号	伊豆中央道及び修善寺道路の早期無料化並びに江間交差点のフルインターチェンジ化を求める意見書	静岡県知事に提出	議員8名	全会一致で可決
発議第18号	中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（金融）、経済産業大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員8名	全会一致で可決
陳情第3号	市内すべての中学校で給食の早期実施を求める陳情	陳情者：伊東市のすべての中学校に給食を実現させる会 代表 二見康代氏 ほか賛成署名者9,822人 (追加賛成署名者2,120人 賛成署名者合計11,942人)	採択すべしとした委員会報告のとおり全会一致で採択	

■平成25年度各会計予算				
◎=全会一致で可決、○=賛成多数で可決（単位：千円、％）				
会計別	区 分	当初予算額	前年度対 比	審議結果
一 般 会 計		24,050,000	109.1	○
特 別 会 計	下 水 道 事 業	1,948,000	97.8	◎
	競 輪 事 業	13,248,000	100.2	◎
	国民健康保険事業	10,936,000	106.4	◎
	土 地 取 得	230	0.7	◎
	霊 園 事 業	49,900	80.2	◎
	介 護 保 険 事 業	6,109,100	104.0	◎
	介護老人保健施設	85,700	100.0	◎
	後期高齢者医療	1,532,000	99.3	◎
病 院 事 業 会 計		618,063	15.0	◎
水 道 事 業 会 計		2,575,967	94.1	◎
合 計		61,152,960	98.7	—

※病院事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

■主な新規事業（全体では85の新規事業があります。） （千円）
○三浦按針にゆかりのある4都市連携事業 ……………371
○かがやくまちづくり事業 ……………10,000
○老人憩の家城ヶ崎荘耐震診断事業 ……………1,350
○認知症高齢者グループホーム整備費補助事業 ……40,800
○ファミリーサポートセンター事業 ……………1,500
○幼児眼科検診事業 ……………2,000
○高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種事業 ……………10,000
○新車庫建設用地測量設計委託事業 ……………3,000
○観光基本計画策定事業 ……………1,500
○さくらの里及び小室山つつじ園夜間照明設備整備事業 …10,000
○伊豆半島ジオパーク発信事業 ……………1,200
○大室山ジオサイト山頂整備事業 ……………12,000
○110人110m110万円超ロング綱引き大会事業 ……4,000
○橋りょう長寿命化修繕事業 ……………30,000
○小室山公園テニスコート夜間照明整備事業 ……25,000
○普通消防ポンプ自動車購入事業 ……………63,000
○デジタル防災行政無線システム整備事業 ……171,201
○東小学校共同調理場給食調理運搬洗浄委託事業 …14,600
○就学時健診委託事業 ……………5,621

本会議で 行った討論 (概要)

■伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例

《反対》 掬川武義議員

本条例改正は、五月に執行予定の市長選挙にあわせて市議補欠選挙が行われた場合、当選した在職一カ月未満の議員への期末手当を無支給とするものであるが、一方、改選の際、新たに当選した議員には、在職約二カ月で従来どおり期末手当が支給されるが、その整合等に係る協議がなかったことや、現時点において補欠選挙の執行予定もないことから、提出時期、内容とも意味のない改正であると考え、反対する。

■平成二五年度伊東市一般会計予算

《反対》 森篤議員

市民の英知を結集する「未来協知」は、住民自治の観点からも大事な言葉であり、その理念のもとに本

市経営を遂行する考えに異を唱えるものではない。

しかし、「未来協知」戦略の期限は不明確な上、特段の施策等も見えてこない。また、「未来協知」と密接に結びつく公共文化政策においても、その重要性和住民自治の進展関係が予算に反映されているとは言えないことから反対する。

《賛成》 重岡秀子議員

新年度予算案は、「未来協知」のテーマのもと、明るい動きが感じられた。

市民ボランティアの意欲的な活動に支えられた家庭訪問型子育て支援事業を新規事業としたことや、かきやくまづくり事業における補助金の拡大など、評価できる部分が見られる。

観光を主産業とする本市は、市民との協働や市民力・職員力を引き出し、創造的な施策を進めることが特に重要と考え、さらなる前進を願い、賛成する。

《賛成》 民主党・刷新の会

公共インフラの強靱化や長寿命化は、全国共通の課

題であり、一般会計予算案における土木事業費の突出は平均的な特徴と言える。

本市の産業構造や経済状態を踏まえると、前年度と比較して減額された労働費、商工費及び農林水産業費において、独自性や先進性のある事業を上積みする必要があるので、私たち党派からの提起について、予算執行までの改善や補正予算の中での反映を要望し、賛成する。

《賛成》 公明党

市長が掲げる「未来協知」の取り組みは、新しい枠組みでの行財政運営の方策として、伊東市公共経営大綱において示す行政と市民・地域との協働の取り組みと軌を一にするものと考えられる。

観光が基幹産業の本市において、入湯税の減少が見込まれるなど厳しい行財政の状況下にあつて、「未来協知」の取り組みが推進され、市民生活と福祉の向上、教育環境の充実が図られることを期待し、賛成する。

《賛成》 伊東元気の会

予算案からは、政治主導による予算編成が感じられず、過去追従型であり、本市独自の積極的な取り組みとは言えない。難題が山積する中、劇的な意識改革を初め、市民力を活用し、また、新事業を進めつつ古い事業を見直す必要がある。

さらに、議会の提言や提案、市民の要望等を真摯に受けとめながら、迅速に対処し、対応が困難なものについては、丁寧に説明することを要望しつつ賛成する。

《賛成》 正風改革クラブ

市民生活の安心と安全に配慮しつつ財政調整基金を約二〇億円まで積み立てた点を評価する一方、市内経済の低迷は続き、活性化に向けての取り組みを求める。

また、四月からの社会福祉法人の指導監査は、万全の準備で取り組んでほしい。なお、親子方式による学校給食や環境美化センター改良工事等、課題が山積しているが、市民力や地域力を結集するとの市長の行政

運営に期待し、賛成する。



平成25年度一般会計予算案起立採決

■市内すべての中学校で給食の早期実施を求める陳情
《採択に賛成》 重岡秀子議員

平成九年度に門野中で初めて中学校給食が実施されたが、他の四校では、いまだに実施されておらず、学校給食運営計画においても、検証等を要するとして、中学校給食の具体的な実施計画は示されなかった。

成長期の子供たちの食を改善していくことは、市民の健康づくりにもつながる大切な仕事であるが、この点からも、中学校給食の早急な実施とともに食育の向上を求め、本陳情採択に賛成する。

予算大綱質疑

全会派及び会派に所属していない議員から12議員が質疑
／各会計予算及び市長の政治姿勢について（質疑順に掲載）

※市長施政方針及び平成25年度予算の概要につきましては、広報いとう4月号をごらんください。

◎＝会派代表者、会派構成議員は議席順。質疑された議員は、太字・網かけ

■正風改革クラブ

・浜田修一郎議員・榎本元彦議員
・佐山 正議員・井戸清司議員
◎佐々木 清議員・西島 彰議員
・宮崎雅薫議員・土屋 進議員

一 今年度の目玉事業は
二 ジオパーク世界認定
への取り組みは
三 小室山テニスコート
夜間照明整備について

今年度の目玉事業は何か
何う。また、伊豆半島ジオ
パークについて、市議会常
任観光建設委員会では、先
進各地への視察など、調査
研究を重ねているが、世界
認定に向けた取り組みにつ
いて何う。さらに、小室山
テニスコートの夜間照明の
設置は有意義であると考え
るが、当局の考えを何う。

一 環境美化センター整備
事業や「未来協知」への
取り組みに係る事業
二 ガイド養成及び外国語
冊子の制作やジオサイト
の整備、啓発等に努める

三 大規模な大会の誘致が
可能となり、テニスを通
じ交流人口の増加を図る

市長

環境美化センターに係る
整備は、市民生活への影響
に配慮しつつ工事を進める。
また、消防・防災体制の
強化を図るとともに、市有
施設の耐震化、インフラ施
設の事前防災対策、健康づ
くりの推進、観光施設の整
備、効果的な誘客宣伝、市
内経済対策、子育て世代の
応援等に係る事業を行う。
世界ジオパーク認定に向
けた取り組みは、従来のジ
オガイド養成に加え、ジオ
ツアーの仕組みづくり、外
国語パンフレットの制作等
を行い、あわせて、ジオサ
イトの整備、啓発に努める。
小室山テニスコートにつ
いては、四面に夜間照明を
整備し、全国的規模の大会
を誘致するとともに、企業
や大学の合宿等、テニスを
通じ、交流人口の増加を図
る。

『その他の質疑』 一六点

■輝21

・稲葉正仁議員・稲葉富士憲議員
◎三枝誠次議員

緊急雇用対策事業の取
り組み及び市臨時職員
の正職員化について何う

緊急雇用対策事業費に関
し、国の動向をいち早く捉
え、より増額できる体制を
図るとともに、短期的な雇
用が多い中、雇用の安定を
図るため長期的雇用となる
よう対策を講じていく考え
について何う。

また、市職員数は職員適
正化プログラムにおける計
画数を既に下回っており、
正職員の負担が増している
中、身分が安定せず、常に
退職の不安を抱える臨時職
員が支えているものと推察
するが、これらの問題を解
消するため、知恵を絞り、
策を講じて臨時職員の正職
員化について検証すべきと
考えるが、いかがか。

雇用対策には積極的かつ迅

速・柔軟に対応するととも
に幅広い雇用の創出を要望
していく。一方、市臨時職
員の正職員化は難しいもの
の、策について検討したい

市長

雇用対策として緊急雇用
創出事業を活用し、平成二
一年度以降一六四事業を実
施し、八三七人の新規雇用
を創出しており、今後も、
引き続き国の動向を注視し、
県とも連携を図る中で、雇
用対策に積極的かつ迅速・
柔軟に対応していく。

新年度の緊急雇用創出事
業では、介護資格者育成事
業など、長期的な雇用の増
加に向けた事業も積極的に
実施する予定であり、今後
も雇用の安定化に向け、地
域の雇用情勢やニーズを把
握し、国に対しても、全国
市長会等を通じて、幅広い
雇用の創出を要望していく。
一方、市臨時職員をその
まま正職員として採用する
ことは、現状難しいものの、
方策について検討したい。

『その他の質疑』 四 点

■公明党

◎鳥居康子議員・長沢 正議員
・楠田一男議員

市民税等の計上額の根拠及び入湯税の今後の見通しについて伺う

一般会計予算案に関し、自主財源の四六・七％を占める市税収入のうち、個人市民税の対前年度比での減額計上は、個人所得の減少によるものと考えられるが、観光を基幹産業とする本市の状況を踏まえ、どのような要因によるか伺う。

また、法人市民税の対前年度比での増額計上は、震災による影響や法人数の減少など厳しい経済状況が続いていると考えられるが、どのように判断したか伺う。

さらに、入湯税の対前年度比での減額計上は、震災の影響から、入り込み客数はいまだ厳しい状況が続いている一方で、申告が増加している状況を考慮すると、震災前の数字には届かない

ものの、持ち直しの状況も考えられることから、どのように判断したか伺う。

宿泊者数の減少傾向に伴い、今後も入湯税の減少傾向が続くものと考えている

市長

個人市民税は、長引く景気低迷や厳しい雇用情勢などにより給与所得者等の個人所得の減少を見込んだことから、対前年度比四・一％、一億一八二万八〇〇〇円減の計上とした。

法人市民税では、企業収益において震災等の影響から持ち直し傾向が見られることから、対前年度比一・四％、七四六万九〇〇〇円増の計上とした。

また、入湯税については、宿泊者数の減少傾向が続いていることから、対前年度比六・六％、二一五万八〇〇〇円減の計上としたものであり、今後についてもこの減少傾向は続くものと考えている。

『その他の質疑』

四点

■民主党・刷新の会

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員
・浅田良弘議員

**二期八年の市政運営からインバウンド事業をどう評価し事業展開するか
二 商工費に関し市内経済をどう捉え対策すべきか**

本市インバウンド事業に関し、未来を見据え、対象国や宣伝方法、交流なども含め、見直す必要があると思われるが、同事業の評価と、今後の事業展望を伺う。

また、建設・土木関連予算の大幅増額に対し、商工費は減額されており、産業構造に対する経済対策に偏りがあると思われるが、市内経済状況をどう捉え、対策を講ずるべきと考えるか。

一 今後も東アジア圏を中心に誘客に努めていく
二 関係団体と連携し産業振興施策を推進していく

市長

本市インバウンド事業は、

昭和六二年度の国際観光モデル地区の指定を皮切りに整備が進められ、平成二〇年度には伊東市インバウンド推進協議会を設立するなど、事業が展開されている。今後も、積極的にトップセールスを行い、県やインバウンド推進協議会と連携する中で、東アジア圏を中心に誘客に努めていく。

また、市内経済は、デフレ経済下にあつて、高齢化や後継者不足等の要因により経営環境は厳しいと認識しているが、各種商工業振興施策を柔軟かつ迅速に展開しているところである。

一方、商工業の振興施策については、商工業団体等の積極的かつ主体的な事業提案を通して、市、商工会議所、商工業者等が一体となり、事業を推進することこそが産業振興につながる大切な要素であると考えており、今後も、商工会議所などの関係団体等と連携を図る中で、産業振興施策を推進していく。

『その他の質疑』

四点

■伊東元気の会

◎横沢 勇議員・杉本一彦議員

観光費は、どのような「観光地伊東のまちづくり理念」と「観光戦略」をもって、予算編成されたか

平成二四年入湯税に係る課税人員、税額が、前年比七・八％増加したという記事を拝見した。状況分析にデータは重要であり、過去の観光施策を検証し、観光戦略を練る上で参考になる。東日本大震災の年を基準としたデータではあるが、市税の増収は喜ばしく、市内の観光経済が成長すべく、観光施策を期待したい。

そこで、観光費は、新時代に向けた「観光地づくり」と「観光振興」の観点から、どのような「観光地伊東のまちづくり理念」と「観光戦略」をもって予算編成されたか伺う。

伊豆の各市町と連携を深め、

地域の魅力を生かした観光誘客を念頭に編成を行った

市長

観光予算は、第四次総合計画に掲げる「場の力が創造する魅力・活力のあるまちづくり」に沿って、人の出会いを大切にしたい。「おもてなし」や、風光明媚な「伊東八景」を初めとする豊富な観光資源をさらに磨きあげるとともに、観光都市から感動都市へと、観光客に感動を与えられるように、昨年認定された「伊豆半島ジオパーク」の世界認定を目指すなど、伊豆の各市町と連携を深め、地域の魅力を最大限に生かした観光誘客を念頭に編成を行った。

『その他の質疑』 二点



伊東八景の一つであり、ジオポイントでもある大室山

森 篤議員

(会派に所属していない)

江戸城石丁場遺跡の国史跡指定に向けた動向について

市長

ことし一月に、文化庁、静岡県、神奈川県、熱海市、小田原市との担当者会議において、文化庁が開催する有識者会議で諸問題を検討する必要性が打ち出された。石丁場遺跡は、複数自治体に広がる遺跡で、それぞれに共通の評価をする必要があり、今後も文化庁の指導を受けつつ、国史跡指定に向け調査を進めていく。

『その他の質疑』 二点

掬川武義議員

(会派に所属していない)

農林水産業費は、将来の展望をいかに考え編成したか

市長

将来の食と農林漁業の再生を見据え、農業は、耕作放棄地再生利用の支援、担

い手の育成、鳥獣被害対策等を、林業は、森林環境の整備と保全を、水産業は、漁港の整備、つくり育てる漁業を推進する。あわせて、地場産品のブランド化等を通じ、その魅力を発信しつつ、地産地消を推進し、農

林水産業の振興に努める。

『その他の質疑』 五点

重岡秀子議員

(会派に所属していない)

「市民参画によるまちづくり」を推進する新施策を予算にどのような反映したか

市長

かがやくまちづくり事業として、行政区や分譲地自治会のほか、新たに市民活動団体にも、資金面からの支援を広げ、また、いとう創造大賞事業で、子育て支援をテーマに提案された最優秀二事業を予算に反映させた。今後も、市民・地域等との協働による事業の展開を図っていく。

『その他の質疑』 一点

一般質問

12議員が登壇/市政全般について質問

(登壇順に掲載)

奥野ダムの小水力発電の進捗状況について伺う



正風改革クラブ 榎本元彦議員

奥野ダムの小水力発電については、県事業であることは承知しているものの、奥野ダムに新たな役割と魅力が加わればという思いから、小水力発電の進捗状況について伺う。

施設の建設、維持管理、運営方法等について調査を進めている

市長

奥野ダム管理用小水力発電施設は、平成二五年一月から平成二六年三月までの工期により、現在、静岡県が建設を進めている。

本市としても、ダムから大川浄水場への導水管を利用した小水力発電が可能と考えており、環境保全及び

未利用エネルギー活用、観
点から、現在、施設の建設、
維持管理、運営方法等につ
いて調査を進めている。

『その他の質問』 五点



奥野ダム

本市ホームページに関
し、伺う



輝21
稲葉富士憲 議員

多くの観光客がインター
ネットを利用して旅行先を
選定している現状において、
観光を基幹産業とする本市
の観光情報がわかりにくい
との意見は無視できないも

のと考え、本市ホームペー
ジに関し、デザイン、掲載
内容、市民からの意見、今
後の改善等について伺う。

市民等と情報を共有できる
ホームページを目指す

市長

現在、二六一八件の市政
情報を公開し、閲覧件数は、
平成九年の開設当時の七倍
になり、広報広聴に大きな
役割を果たしている。

市民から、必要な市政情
報が掲載されていないとの
意見をいただいたことはあ
るものの、平成二五年度に
改訂する予定で、より見や
すく、検索しやすい、市民
等との情報を共有できるホ
ームページを目指す。

『その他の質問』 七点



平成25年度からリニューアルした
伊東市ホームページ

公文書の保存及び管理
について、また、レコー
ドマネージャーの必要
性について



公明党
長 沢 正 議員

市民共有の知的資源であ
る公文書の管理は、自治体
の重要な責務であり、過去
を検証し、政策づくり等に
役立ち、ますます重要にな
ると考えるが、公文書の保
存管理をどのように行って
いるか伺う。

また、文書情報管理専門
家であるレコードマネー
ジャーの必要性について伺う。
公文書等は適正に管理して
いる。レコードマネー
ジャーは、必要性を検討する

市長

事務処理が完結した現年
度及び前年度文書は、各課
内で保管し、それ以前の文
書は、集中書庫に保存して

いる。保存年限が到来した
文書は、溶解処理している。
レコードマネージャーは、
他市の動向を見ながら、そ
の必要性を検討していく。

『その他の質問』 九点



文書書庫

本市の津波対策について



正風改革クラブ
浜田修一郎 議員

県の第四次地震被害想定
の中間報告では、南海トラ
フを震源とする巨大地震に
伴い、赤沢、八幡野で一〇
m、旧市街地で五mの大津
波が想定され、相模トラフ
における最大級の地震も、

これと同じ位置づけとされ
ている。

また、(仮)地震・津波対
策アクションプログラム二
〇一三では、東日本大震災
の教訓に学びつつ、減災を
目指すとしているが、本市
の具体的な津波対策を伺う。
ハード、ソフトの両面から、
さらなる対策の充実を図る

市長

東日本大震災以降、海拔
表示看板の増設や津波避難
協力ビルの指定及び津波ハ
ザードマップの作成のほか、
津波避難階段の整備等によ
り津波対策の強化を図って
いるところであるが、引き
続きこれらを整備するとと
もに、津波避難訓練等を継
続的に実施し、さらなる津
波対策の充実を図る。

『その他の質問』 三点



津波ハザードマップ

旧市民病院の跡地へ看護学校を設置する考えを伺う



民主党・刷新の会
浅田良弘 議員

本市と熱海保健所との意見交換会において、旧市民病院の跡地利用に関し、看護師不足の深刻な状況から、要望された看護学校の設置について、考えを伺う。

安定的な運営が可能か、建設や運営に係る財源を含め、検討を進めたい

市長

市内に看護学校を設置することは、看護師の安定的な確保にも一定の寄与をすると考えており、近隣の看護学校の設置状況を踏まえ、安定的に学生を集め、将来にわたって運営をしていくことが可能かどうか、建設や運営に係る財源、建設地や運営主体なども含め、今

後、検討を進めていきたい。また、病院跡地については、当分の間は市民病院職員駐車場として活用していくが、今後、さらなる有効活用に向け、検討していく。

『その他の質問』 三点



旧伊東市民病院

医観連携システムに関し、市内観光関連業者との連携について伺う



正風改革クラブ
井戸清司 議員

世界約五〇カ国で実施されるメディアカルツーリズムは、インバウンド事業だけでなく、観光関連業者との連携により、健康保養地と

しての国内需要にも対応できると考えるが、いかがか。今後、国内外に対し、積極的な誘致を展開したい

市長

健康保養地づくりに取り組む本市にとって、医療と観光は最も重要なテーマである。医観連携は、国際交流のみならず、観光振興や地域活性化に資するものであり、今後も医療と観光とのさらなる連携を図っていく。また、市内観光関連業者と連携する中で、地域の特色を生かした旅行商品の開発に取り組み、今後、国内外に対し、積極的な誘致を展開していきたい。

『その他の質問』 六点



新伊東市民病院健診センター

国道一三五号殿山及び川奈口の交差点形状に関する整備計画の状況、並びに、同区間における四車線化に係る進捗状況について伺う



伊東元気の会
横沢 勇 議員

平成二二年三月定例会の一般質問と重複するが、地域住民の不安を解消し、安全・安心な道路整備の推進を図っていただきたいの思いから、国道一三五号殿山及び川奈口の交差点形状に関する整備計画の状況、並びに、同区間における四車線化に係る進捗状況について伺う。

地域の皆様の安全を第一に、計画を策定していきたい

市長

同区間は、現在でも住宅地から国道への出入りに危険な状況であること、また、

四車線になると地域の皆様の生活に支障を来すことも認識している。地域の皆様の安全を第一に、説明を行い、理解を得て計画を策定していきたい。



殿山交差点～川奈口交差点

新市民病院の協定を踏まえた今後の財政負担について



民主党・刷新の会
鈴木克政 議員

本体工事は低入札で施工されたが、多額の費用が投じられ、宝物を手にしたと同時に大きな財政負担も背負うこととなった。

開院を迎え、指定管理者と締結した協定の内容を踏まえた現時点での財政負担の見通しについて伺う。

平成二十七年から平成五一年度まで元金の償還を行う

市長

新病院の減価償却費相当額の一部として、指定管理者に一億円を負担していた。だくとともに、市から、第二次救急医療交付金五〇〇万円や医療従事者確保対策事業交付金一〇〇〇万円を支出することとしている。

なお、新病院の起債に関しては、平成二十七年から平成五一年度まで元利合計で二億円程度の償還を行うが、このうち二・五％程度が地方交付税措置される。

『その他の質問』 四点



新伊東市民病院

学校給食における現状と今後の展望について本市学校給食運営計画に幾つかの疑問を抱く



民主党・刷新の会
四宮和彦議員

民間委託されたとしても、食育基本法の教育目的を実現できるか、地産地消による一次産業振興へ寄与することができかねるを含め、現状と今後の展望を伺う。

小・中学校給食全体を見据えた体制の確立を目指す

市長

本市は、全小学校と門野中学校において、自校方式による給食の提供にあわせ、食育を推進している一方、施設の老朽化や調理員減少など、多くの問題がある。当面の課題解決に向け、伊東市学校給食運営計画を策定し、諸問題への対策を初め、小・中学校給食全体

を見据えた体制の確立を目指し、東小学校と川奈小学校において、親子方式による共同調理場を民間委託により運営していく。

『その他の質問』

三点



川奈小との親子方式が実施される
東小の調理室

政策をどう予算に反映してきたか、また、市民等の意識改革による成果を伺う



森 篤議員
(会派に所属していない)

二期八年の市長任期最後の予算編成において、政策の特徴をいかに反映したか。また、市民、職員の意識改

革に係る成果について伺う。人件費等の見直しを進めており、また、市民提案の応募状況等から、行政への市民意識の向上も見られる

市長

新年度予算は、市長就任時の一七年度に比べ扶助費が六四・八％増加したが、人件費の見直しを進めつつ、投資的経費については増加となった。

また、意識改革による成果については、市民との協働を方策に掲げつつ「いとう創造大賞」の実施等、市民の意識改革がされ、職員については、伊東市システムによる行政運営の徹底により財政健全化が図られた。

『その他の質問』 四点



平成25年度予算案

城ヶ崎海岸に松や桜を継続的に植樹することについて



掬川武義議員
(会派に所属していない)

本市で最も人気のスポットである城ヶ崎海岸を中心とした海のジオサイト整備事業は、城ヶ崎の自然を守りつつ、将来の観光地のモデル地区となるよう、日本一美しい観光地を目指す事業とすべきだが、城ヶ崎海岸の将来の景観像を見据え、松や桜を継続的に植樹していくことの必要性を伺う。

松を中心とした景観の保全を第一として取り組む中で、桜の継続的な植樹は、環境省や地元と協議していく

市長

地元やボランティア団体の協力を得る中で、松の植樹や再生及び環境保全に取り組んでいるところであり、

病院経営のかなめは、人員配置と地域の信頼であり、この信頼には、病院の状況



重岡 秀子 議員
(会派に所属していない)

信頼される病院となるため、市民との意見交換の場の創設や第二次救急医療機関として周知する必要はないか



城ヶ崎の松林

松を中心とした現在の景観を保全しつつ、貴重な自然財産を未来へつなげることを第一とし、新たな景観をつくり出す桜の継続的な植樹については、環境省や地元と協議、検討していきたい。『その他の質問』 三点



地域医療についての広報
(広報いとう2月号)

や医療問題の理解が不可欠である。信頼される市民病院となるためには、市民が、市民病院の役割やかかり方を知り、また、病院と意見交換もできる取り組みが必要と考えるが、いかがか。

意見交換の場の設置については、今後検討し、また、地域医療についての広報、啓発に引き続き努める

市長

市民との意見交換の場の設置については、地域医療の現状の周知等が重要であり、今後検討していく。

また、現在、地域医療全体としての広報をしており、救急患者数の減少につながっていることから、今後も広報、啓発に努めていく。

『その他の質問』 四点

全員協議会

三月二二日、三月定例会閉会後に全員協議会を開会し、当局から次の報告がされました。

■アゼルバイジャン共和国
イスマイリ州との友好関係の構築について

ことばの解説

(予算大綱質疑)

平成八年三月定例会以降実施されていた「代表質問」にかえて、市長施政方針、新年度予算等に関し、会派及び会派に所属していない議員による予算大綱質疑を試行実施しました。

持ち時間は、議員一人当たり二〇分とし、会派にあつては所属人数を乗じた時間となります。

陳情審査

市内すべての中学校で給食の早期実施を求める陳情

本陳情は、平成二五年二月二六日に、伊東市のすべての中学校に給食を実現させる会から提出され、常任福祉文教委員会に審査が付託されました。

委員会においては、九人の傍聴者が見守る中、全会一致で採択すべしと決定し、あわせて、その処理の経過及び結果の報告を請求することを適当と決定しました。

この報告を受け、本会議において、討論、採決した結果、本陳情は委員会の決定のとおり採択することに、全会一致で決定しました。



福祉文教委員会における
陳情審査の様子

平成24・25年

閉会中の議会活動

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| 12月20日 新市民病院視察 | 2月 8日 議会改革特別委員会 |
| 1月 9日 議会報編集委員会 | 14日 議会運営委員会 |
| 15日 常任福祉文教委員会協議会 | 18日 常任福祉文教委員会協議会 |
| 18日 議会改革特別委員会 | 19日 常任福祉文教委員会懇談会
(市立伊東市民病院スタッフ) |
| 23日 伊豆半島ジオパークに係る
情報交換会(6市5町) | |
| 29日 常任観光建設委員会協議会 | |

※平成24年12月定例会閉会後
平成25年3月定例会開会まで



市民病院スタッフとの懇談会

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、六月上旬発行予定の三月定例会会議録の委員会審査報告をのぞいてください。

総務委員会

問

清掃車新車庫建設に係る計画を伺う。

答

新年度に測量と造成に係る設計を行い、その結果や財政状況を踏まえ、造成や建物建設の計画を立てたい。

問

電柱に掲示する海拔表示について、考えを伺う。

答

現状、海拔二〇m以下の場所に設置しており、今後、電柱の所有者と協議しながら効果的に設置したい。



避難時の目安となる海拔表示

観光建設委員会

問

城ヶ崎海のジオサイト整備事業の内容について伺う。

答

世界ジオパーク認定に向け、富戸漁港周辺に落石・転落防止策等を講じるとともに、ジオサイトの解説板や案内標識を設置する。

問

下水道整備の重点地区について伺う。

答

新年度は逆川・城星方面を重点的に整備していく。



25年度に整備が予定されている長美代付近

福祉文教委員会

問

新病院の運営状況を問う。

答

予約の外来を半分に絞る中開院し、新規患者も多いが順調に運営がされている。



新伊東市民病院エントランス

問

中学校給食の展望を問う。

答

東小学校と川奈小学校の親子方式の検証等を踏まえ、中学校の改修等も考慮しつつ、地域の特性に合った方策を模索し、中学校給食実現の可能性を探っていく。

特別委員会

中間報告



議会改革特別委員会

在職一カ月未満の議員期末手当を無支給へ

一月一八日、二月八日に委員会を開催した。

五月の市議補選で当選した際の在職期間が特に短い議員への期末手当について、適切な支給額であるか疑問があるとして協議を行った。委員の意見は、これを見直すべしとして一致し、在職一カ月未満の際の期末手当は無支給とするとしてこの旨を諮り、異議なく了承された。

なお、本決定に関し、議長及び委員長により、全議員に理解を求めるべく調整する旨の確認がされたが、一議員でも賛同が得られなかった際には、それぞれの議員の意向に基づき発議等を含め、対応を委ねるとしてこの旨を諮り、異議なく了承された。

編集後記

真新しいランドセルが陽光に映える季節を迎え、新生活をスタートさせた方も多いかと存じます。

今定例会では、これまでの代表質問にかえて、新たな取り組みとして予算大綱質疑を試行実施しました。市議会におきましては、市民の皆様の負託に応えるべく、今後も改革に取り組んでいきます。(委員長)

議会報編集委員会

委員長 三枝 誠次
副委員長 榎本 元彦
委員 長 沢 正
" 四 宮 和彦
" 杉 本 一彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一号
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六
次期六月定例会は六月一〇日開会の予定です。